

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 MedicationStatement リソース 服薬情報

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
resourceType						“Condition”	<b>MedicationStatement</b> リソースであることを示す
text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものをに入れてもよい。
	status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
	div			1..1	xhtml	<div xmlns=“http://www.w3.org/1999/xhtml”>xxx</div>	値は例示。
identifier				0..1	Identifier		この服薬情報に付番された ID

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
	value			1..1		"2020-10-002933"	服薬情報 ID の文字列。値は例示。
status				1..1	code	"stopped"	<p>服薬状態のステータス。</p> <p>コード表:  "http://hl7.org/fhir/CodeSystem/medication-statement-status"</p> <p>active   completed   entered-in-error   intended   stopped   on-hold   unknown   not-taken</p> <p>継続中、終了、エラー、今後服薬予定、中止、一時停止、不明、服用せず</p>
statusReason				0..1	CodeableConcept	text:"アレルギーのため中止"	服薬状態のステータスとなった理由。コード化せずテキストのみで記述する。
medicationCodeableConcept				1..1	CodeableConcept		<p>医薬品コードと医薬品名称。coding 要素を繰り返すことで HOT9 や YJ コードなど複数のコード体系で医薬品コードを並記することが可能。利用可能なコード体系は表 20 を参照。</p> <p>coding 情報を記述せず医薬品名を text で記述してもよい。</p>
	coding			0..*	Coding	1	

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
		system		1..1	uri	"urn:oid:1.2.392.200119.4.403.1"	医薬品コード(HOT9)を識別するURI。値は例示。
		code		1..1	code	"103831601"	医薬品コード(HOT9)。値は例示
		display		1..1	string	"カルボシステイン錠250mg"	医薬品名称。値は例示 <sup>1</sup> 。
	text			0..1			医薬品名称テキスト情報
subject				1..1	Reference		患者を表す <b>Patient</b> リソースへの参照。
effectivePeriod				0..1	Period		服薬期間
	start			0..1	dateTime		開始日
	end			0..1	dateTime		終了日
reasonCode				0..*	CodeableConcept	"urn:oid:1.2.392.200119.4.101.6" "B0EF" "持続腹痛" "長く続く腹部の痛み"	この投薬の理由、対象疾患など。 system 値は MEDIS 標準病名マスター病名交換用コードを使用する場合の例示。"B0EF"は、MEDIS 標準病名マスター病名交換用コードで"持続腹痛"のコード。"持続腹痛"はそのテキスト記述の例。

<sup>1</sup> 本文書中の例では、実際の医薬品名称を使用している。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
note				0..*			他のフィールドで記述できないイベントに関するテキスト記述
	author						記載者の情報
		authorString		0..1	string	“患者”	記載者氏名などの文字列。必ずしも氏名でなくてもよい。
	time			0..1	dateTime		この追加的な情報が作成された日時。
	text			1..1	markdown		追加的な情報の内容。markdown形式のテキストが使用できる。データとして 1M バイト以内であること。
dosage				0..1	Dosage		服薬指示情報の詳細。 別表を参照のこと。